

各 位

会社名 エムケー精工株式会社
 代表者名 代表取締役社長 丸山将一
 (コード番号5906 JASDAQ)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 小林文彦
 (TEL 026-272-0601)

特別利益（負ののれん発生益）の計上及び 業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2019年3月期第2四半期連結累計期間において、特別利益（負ののれん発生益）を計上することになりましたのでお知らせするとともに、2018年4月27日に公表いたしました2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益（負ののれん発生益）の計上について

当社は、2018年7月31日をみなし取得日として、株式会社システムを連結子会社といたしました。これに伴い、2019年3月期第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益186百万円を特別利益として計上いたします。

2. 2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異 （2018年3月21日～2018年9月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	10,500	400	400	250	17.24
今回実績値（B）	10,979	561	583	489	33.79
増減額（B－A）	479	161	183	239	
増減率（％）	4.6	40.3	45.9	96.0	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2018年3月期第2四半期）	9,995	719	716	444	30.68

3. 差異の理由

生活機器事業のワイヤレススピーカーなどの耳関連商品や情報機器事業の道路工事用表示機の売上高が伸長したことから、営業利益、経常利益におきまして業績予想値を上回ることとなりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、上記の特別利益の計上により業績予想値を大幅に上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、今後の経済情勢や市場動向に先行き不透明な要素が多いことから、当初予想は変更しておりません。

以 上